

令和6年度ネットリサーチ「茨城県民の郷土愛」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）については、「日本一の産地である『メロン』『栗』をはじめ、『梨』や『ほしいも』などの豊富な農産物」が61.3%で最も高く、「ネモフィラ・コキアなどが有名な『国営ひたち海浜公園』」が60.7%、「日本三名瀑の一つに数えられる『袋田の滝』」が49.0%と続く。
- 茨城県に対する愛着の有無については、「持っている」(25.1%)、「どちらかといえば持っている」(47.2%)を合わせた【持っている】は、72.4%となっている。一方で、「どちらかといえば持っていない」(18.1%)、「持っていない」(9.6%)を合わせた【持っていない】は27.6%となっている。
- 茨城県に愛着を感じるところについては、「住みやすさ」が73.2%で最も高く、「山・海・川・湖などの自然」が53.1%と続く。

■調査結果の概要

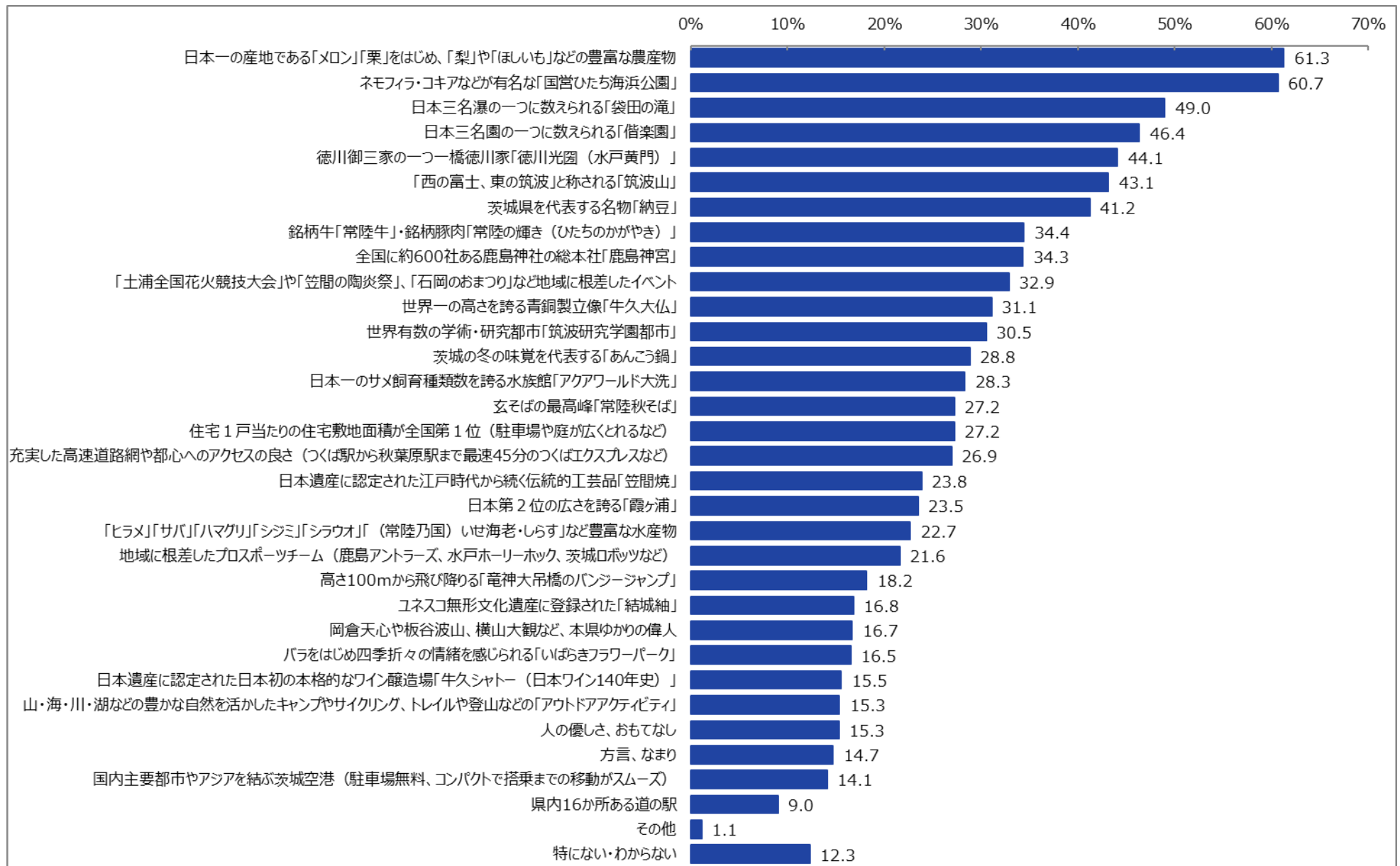
1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

◇ 「日本一の産地である『メロン』『栗』をはじめ、『梨』や『ほしいも』などの豊富な農産物」が61.3%で最も高く、「ネモフィラ・コキアなどが有名な『国営ひたち海浜公園』」が60.7%と続く。

Q1.茨城県には、以下のような特徴がありますが、あなたが知人に自慢したいもの（自慢したいこと）は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	1231
日本一の産地である「メロン」「栗」をはじめ、「梨」や「ほしいも」などの豊富な農産物	61.3	754
ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」	60.7	747
日本三名瀑の一つに数えられる「袋田の滝」	49.0	603
日本三名園の一つに数えられる「偕楽園」	46.4	571
徳川御三家の一つ「橋徳川家」「徳川光圀（水戸黄門）」	44.1	543
「西の富士、東の筑波」と称される「筑波山」	43.1	531
茨城県を代表する名物「納豆」	41.2	508
銘柄牛「常陸牛」・銘柄豚肉「常陸の輝き（ひたちのかがやき）」	34.4	424
全国に約600社ある鹿島神社の総本社「鹿島神宮」	34.3	423
「土浦全国花火競技大会」や「笠間の陶炎祭」、「石岡のおまつり」「水郷潮来あやめまつり」「真壁のひなまつり」など地域に根差したイベント	32.9	404
世界一の高さを誇る青銅製立像「牛久大仏」	31.1	383
世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」	30.5	376
茨城の冬の味覚を代表する「あんこう鍋」	28.8	355
日本一のサメ飼育種類数を誇る水族館「アクアワールド大洗」	28.3	349
玄そばの最高峰「常陸秋そば」	27.2	335
住宅1戸当たりの住宅敷地面積が全国第1位（駐車場や庭が広くとれるなど）	27.2	335
充実した高速道路網や都心へのアクセスの良さ（つくば駅から秋葉原駅まで最速45分のつくばエクスプレスなど）	26.9	332

日本遺産に認定された江戸時代から続く伝統的工芸品「笠間焼」	23.8	293
日本第2位の広さを誇る「霞ヶ浦」	23.5	289
「ヒラメ」「サバ」「ハマグリ」「シジミ」「シラウオ」「（常陸乃国）いせ海老・しらす」など豊富な水産物	22.7	279
地域に根差したプロスポーツチーム（鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック、茨城ロボッツ、茨城アストロプラネッツ、二所ノ関部屋、式秀部屋など）	21.6	266
高さ100mから飛び降りる「竜神大吊橋のバンジージャンプ」	18.2	224
ユネスコ無形文化遺産に登録された「結城紬」	16.8	207
岡倉天心や板谷波山、横山大観など、本県ゆかりの偉人	16.7	205
バラをはじめ四季折々の情緒を感じられる「いばらきフラワーパーク」	16.5	204
日本遺産に認定された日本初の本格的なワイン醸造場「牛久シャトー（日本ワイン140年史）」	15.5	191
山・海・川・湖などの豊かな自然を活かしたキャンプやサイクリング、トレイルや登山などの「アウトドアアクティビティ」	15.3	189
人の優しさ、おもてなし	15.3	189
方言、なまり	14.7	181
国内主要都市やアジアを結ぶ茨城空港（駐車場無料、コンパクトで搭乗までの移動がスムーズ）	14.1	173
県内16か所ある道の駅	9.0	111
その他	1.1	14
特になし・わからない	12.3	151

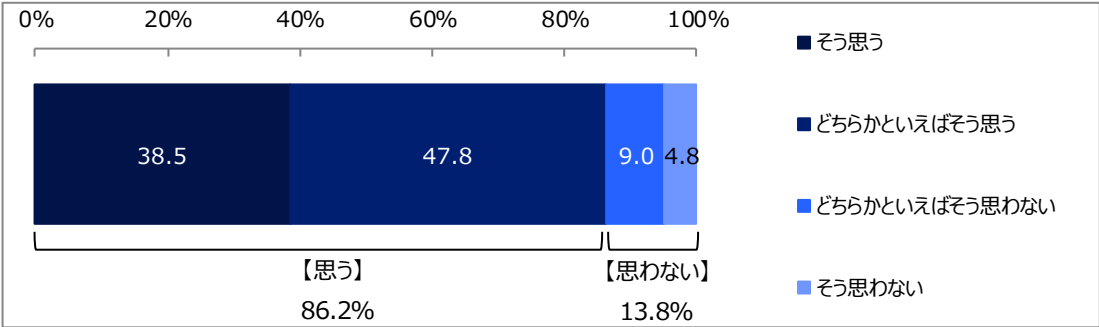


2 茨城県の住みやすさ

- ☆ 「そう思う」(38.5%)、「どちらかといえばそう思う」(47.8%)を合わせた【思う】が86.2%となっている。
- ☆ 一方で、「どちらかといえばそう思わない」(9.0%)、「そう思わない」(4.8%)を合わせた【思わない】が13.8%となっている。

Q2.あなたは、茨城県は住みやすいところだと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1231
そう思う	38.5	473
どちらかといえばそう思う	47.8	588
どちらかといえばそう思わない	9.0	110
そう思わない	4.8	59



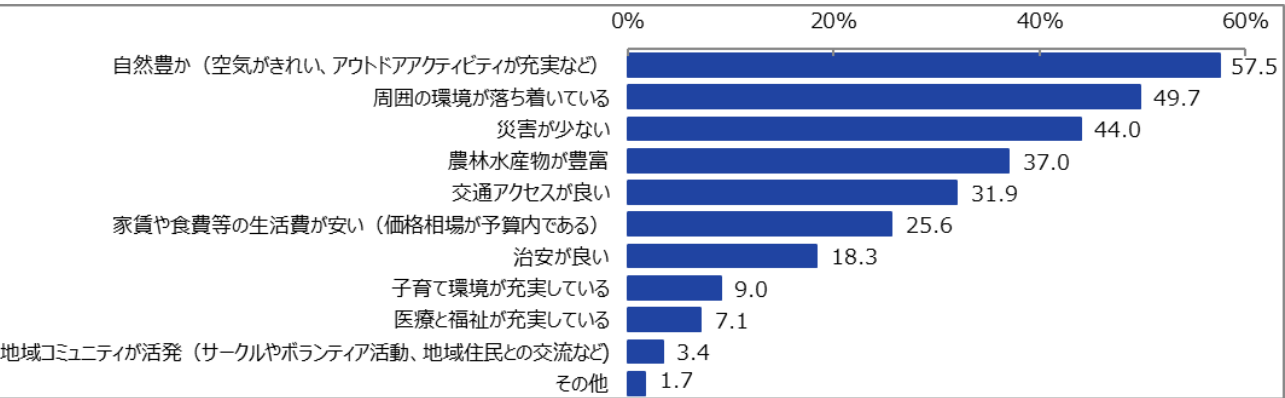
3 住みやすいところだと思う理由

- ☆ 「自然豊か（空気がきれい、アウトドアアクティビティが充実など）」が57.5%で最も高く、「周囲の環境が落ち着いている」が49.7%と続く。

(Q2で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された方へ)

Q3.茨城県が住みやすいところだと思う理由について、次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	1062
自然豊か（空気がきれい、アウトドアアクティビティが充実など）	57.5	611
周囲の環境が落ち着いている	49.7	528
災害が少ない	44.0	467
農林水産物が豊富	37.0	393
交通アクセスが良い	31.9	339
家賃や食費等の生活費が安い（価格相場が予算内である）	25.6	272
治安が良い	18.3	195
子育て環境が充実している	9.0	96
医療と福祉が充実している	7.1	75
地域コミュニティが活発（サークルやボランティア活動、地域住民との交流など）	3.4	36
その他	1.7	18



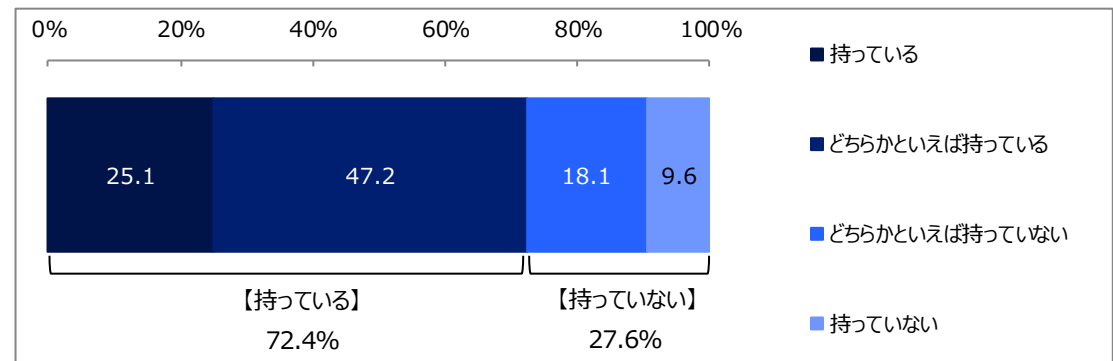
4 茨城県に対する愛着の有無

☆ 「持っている」(25.1%)、「どちらかといえば持っている」(47.2%)を合わせた【持っている】が 72.4%となっている。

☆ 一方で、「どちらかといえば持っていない」(18.1%)、「持っていない」(9.6%)を合わせた【持っていない】が 27.6%となっている。

Q4.Q1の「知人に自慢したいもの」及びQ2の「住みやすさ」を踏まえてお答えください。あなたはお住まいの地域・茨城県に「愛着」(親しみや郷土を思う心など)を持っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1231
持っている	25.1	309
どちらかといえば持っている	47.2	581
どちらかといえば持っていない	18.1	222
持っていない	9.6	118



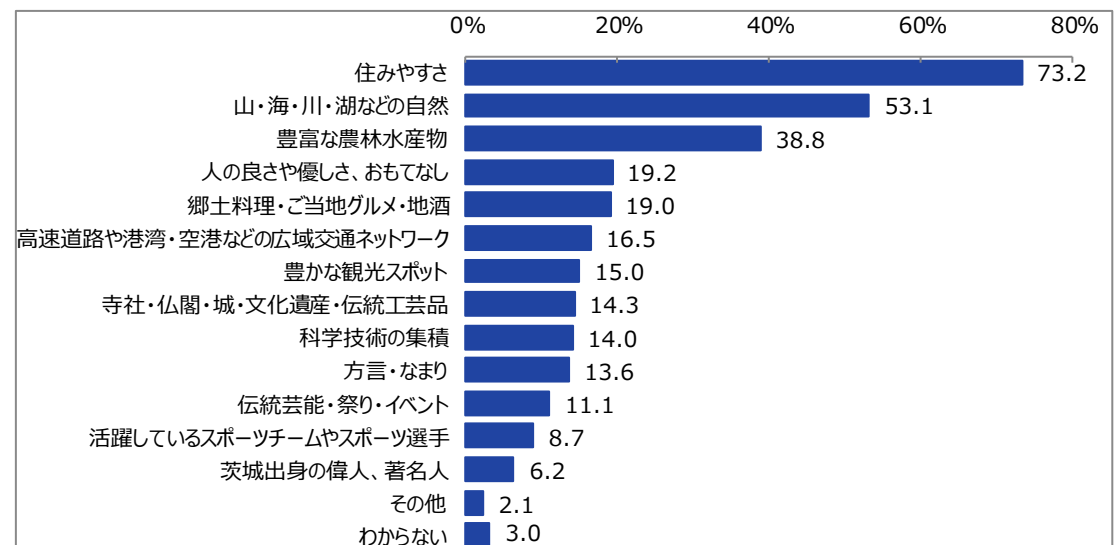
5 茨城県に対する愛着を感じるどころ

☆ 「住みやすさ」が 73.2%で最も高く、「山・海・川・湖などの自然」が 53.1%と続く。

(Q4で「愛着」を「持っている」「どちらかといえば持っている」と回答された方へ)

Q5.あなたは、どのようなところに「愛着」を感じますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	891
住みやすさ	73.2	652
山・海・川・湖などの自然	53.1	473
豊富な農林水産物	38.8	345
人の良さや優しさ、おもてなし	19.2	171
郷土料理・ご当地グルメ・地酒	19.0	169
高速道路や港湾・空港などの広域交通ネットワーク	16.5	147
豊かな観光スポット	15.0	133
寺社・仏閣・城・文化遺産・伝統工芸品	14.3	127
科学技術の集積	14.0	125
方言・なまり	13.6	121
伝統芸能・祭り・イベント	11.1	98
活躍しているスポーツチームやスポーツ選手	8.7	78
茨城出身の偉人、著名人	6.2	55
その他	2.1	19
わからない	3.0	27

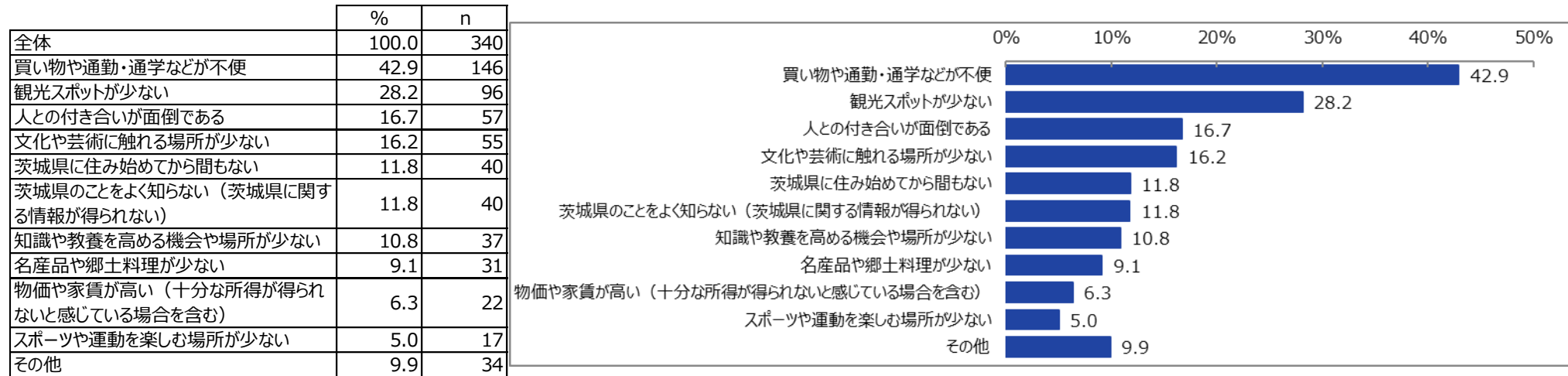


6 茨城県に愛着を持たない理由

☆ 「買い物や通勤・通学などが不便」が42.9%で最も高く、「観光スポットが少ない」が28.2%と続く。

(Q4で「愛着」を「どちらかといえば持っていない」「持っていない」と回答された方へ)

Q6.「愛着」を持っていない主な理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。



■調査の目的

県民が茨城県へ感じている愛着・誇りの程度、愛着・誇りを感じているところ等について調査を行い、今後の施策の参考とする。

■実施概要

・実施期間：令和6年11月22日～12月1日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和6年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,231サンプル
回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		141	299	115	441	235	1,231
性別	男性	72	151	61	224	121	629
	女性	69	148	54	217	114	602
年代別	18～29歳	17	41	16	70	33	177
	30歳代	16	42	16	61	30	165
	40歳代	21	54	20	81	41	217
	50歳代	28	59	21	83	44	235
	60歳代	28	50	20	67	41	206
	70歳代	31	53	22	79	46	231

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

（注）

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
 2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
 3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
 4. 男性18～29歳の回収件数は、鹿行及び県西の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「鹿行」1サンプル及び「県西」3サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。
 5. 女性70歳代の回収件数は、県北、県央及び県西の地域で目標値を下回ったため、女性60歳代で「県北」3サンプル、「県央」6サンプル及び「県西」9サンプルを超過回収し補填するとともに、補填後にも不足のあった「県央」及び「県西」の各地域で「※ウェイトバック集計」という集計方法を利用し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。
- ※ウェイトバック集計・・・アンケートなどで回収されたデータを母集団の実際の構成比に合わせて、データに重みづけをして集計する集計方法。ウェイト値は各地域の人口構成比と調査設計のサンプルの割当て件数（1,231）で算出。なお、割付サンプルの人数について、各地域の人数と性年代別の合計人数は端数処理により一致しない場合がある。